

令和8年8月19日

昭和村教育委員会

教育長 小 野 和 好 様

昭和村統合小中学校推進協議会

会 長 小 野 和 好

昭和村義務教育学校施設整備基本構想（案）の提言について

昭和村統合小中学校推進協議会では、令和7年5月の設立以来、18回にわたる熱心な議論を重ね、昭和村の未来を担う子どもたちにとって最適な学びを実現する新しい学校のあり方、そしてその建設候補地について慎重に検討してまいりました。

この検討過程においては、複数回にわたる住民説明会を開催し、村民の皆様から貴重なご意見を幅広くお伺いするとともに、そのご意見を真摯に受け止め、協議に反映させてまいりました。

これらの議論を踏まえ、去る令和8年8月17日に開催された協議会において、新しい学校のあり方及び建設候補地（鎌沢案）について合意に至り、別紙「昭和村義務教育学校施設整備基本構想（案）」として取りまとめました。

本構想案では、郷土愛を育み、次世代を担う「自律した学習者」の育成を基本理念に掲げ、子どもたちの発達段階に合わせた「4-3-2制」による教育課程の編成、小学校・中学校教員の専門性を活かした教科担任制の導入など、義務教育学校の特性を最大限に活かした教育環境の実現を目指しております。また、建設候補地として選定した「鎌沢案」は、子どもたちの学習環境や心身への負担軽減、村内すべての児童生徒にとっての公平性の確保、そして村の未来を象徴する新たなシンボルとしての役割を期待して判断いたしました。

この「昭和村義務教育学校施設整備基本構想（案）」が、未来の子どもたちに最適な学びの場を提供し、村の持続的な発展に寄与するシンボルとなることを願い、ここに提言いたします。

何卒、ご審議くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。